

あさおの福祉

ほほえみ

第69号

編集・発行

社会福祉法人

川崎市麻生区社会福祉協議会

〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2

新百合21ビル1F 福祉パルあさお内

発行人: 山本 浩真 編集: 広報啓発部会

TEL 952-5500 FAX 952-1424

URL www.kawasaki-shakyo.jp/asao/

mail info@asao-shakyo.com



麻生区社協
キューちゃん



麻生区社協

検索

麻生区社協 広報啓発部会から『イベント開催』のお知らせ 親子で学べる福祉学習 夏休み親子福祉探検隊 介助犬に関する講演会

無料

介助犬とふれあい一緒に「福祉」について学びませんか

日時: 平成30年7月25日 (水) 午前10時~12時

会場: 新百合21ビル 地下2階多目的ホール
(新百合ヶ丘駅北口下車 徒歩3分)

対象: 区内在住の小学生3年生~6年生 80名
♪3・4年生は、保護者が付き添ってください。
♪5・6年生は、お子さんだけで参加いただけます。

内容: 介助犬についての実演・講演会

講師: 社会福祉法人日本介助犬協会

申込: 往復はがきに必要事項を記入の上、麻生区社会福祉協議会までご応募ください。事前申し込みが必要です。
(多数の場合、抽選)

〒215-0004

麻生区万福寺 1-2-2 新百合21ビル 1階

☎ 952-5500 FAX 952-1424

締切: 平成30年7月14日 (土) 必着

昨年度来てくれたPR犬のチャロくん



返信ハガキ表



ご自身の住所
参加者氏名

往信ハガキ裏

夏休み親子福祉探検隊
「介助犬がやってくる」

- ①参加者氏名(フリガナ)
- ②年齢
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤所属小学校・学年
- ⑥参加保護者氏名



広報啓発部会では、区内に住む地域の皆様に社会福祉への関心を深めていただくことを目的に、広報紙『ほほえみ』の発行だけでなく、福祉への理解をすすめるために啓発事業を行っています。

平成30年度 区社協正副会長紹介挨拶



会長
山本 浩真

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域作り」は社会福祉協議会の目標の一つです。区民一人ひとりがお住まいの地域に10年先にあったらいいなを一緒に考えてみませんか。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長
壁 宣昭

麻生区の地域包括ケアシステムの推進に取り組み、地域におけるさまざまな課題を、地域で一体的に支えていこうという中で、さらに地域の福祉、支えあいが充実するよう活動していきたいと思っておりますので、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。



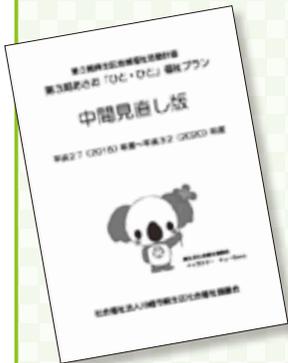
副会長
久保倉 清

地域福祉推進にあたって、社会福祉協議会は、社会福祉法の中で中心的な役割を担う団体として位置付けられています。今後とも、区社協・地区社協活動への理解促進と認知度を高めるため、区民の皆さまから見える体制づくりを推進していきたいと思っております。

第3期麻生区地域福祉活動計画



第3期あさお「ひと・ひと」福祉プランの中間見直しについて



麻生区社会福祉協議会では、平成27年3月に、平成27年度から31年度の5年間を期間とする第3期麻生区地域福祉活動計画（「第3期あさお『ひと・ひと』福祉プラン」）を策定し、取り組みを進めてまいりました。「地域福祉活動計画」とは、社会福祉協議会が、地域住民や地域福祉を進める関係者、関係団体・施設・機関、行政と連携し、「福祉のまちづくり」を推進するための方向性や取り組みを示した計画です。地域福祉を取りまく状況がめまぐるしく変化する中で、計画策定当初より、5年間の中間年にあたる平成29年度に、中間見直しを行うこととしておりました。中間見直しでは、特に「地域包括ケアシステムの推進」や「地域共生社会の実現」などの、地域福祉を取りまく状況やニーズの変化を踏まえ、「第3期あさお『ひと・ひと』福祉プラン」の点検、確認等を行いました。平成29年度に中間見直しの作業をすすめ、『第3期あさお「ひと・ひと」福祉プラン中間見直し版』を取りまとめました。見直し版は、本会の窓口で配布するとともに、ホームページからも見るすることができます。ぜひご覧ください。

ホームページ

麻生区社会福祉協議会

検索

子育て支援部会からのご報告

子育て支援部会では、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指し、様々な事業を行っています。

★子育て支援講座 「小学生になった『わたしの子ども』とのつき合い方」

平成30年2月9日、小学生のお子さんがある方を対象に子どもとの関わり方について考える講座を開催し、27名が参加しました。子育て支援部会の委員でもある国学院大学・十文字学園女子大学兼任講師の石井栄子氏を講師とし、日頃の子どもの関わりを振り返りながら、学べる機会となりました。参加者同士の交流の時間もあり、共感できることが多く大いに盛り上がりました。



★ペアレントトレーニング 「～見直してみよう～うちの子って・・・」

子育て中（未就園児）の親を対象に、子どもとの関わり方を学び、また子育ての悩みを軽減し、親同士の交流の場とすることを目的に開催しました。子育てのイライラや不安、子どものほめ方、子どもの主体性を活かす注意の仕方、子どもへの禁止の仕方をテーマに全4回に渡り講座を開催し、延べ52名が参加しました。例年大好評いただいております、今年度も11月から開催する予定です。



今後も子育て支援部会では、地域の子育てに活かせる講座を企画していきます。随時ホームページにも掲載していきますので、ぜひご覧ください！

広報啓発部会からのご報告

「福祉啓発映画会」を開催しました！
平成30年3月15日（木）新百合21ホールにて、福祉啓発映画会を開催しました。



本映画会は、地域の皆様に広く「福祉」に対する関心を持っていただくために、広報啓発部会で企画実施しています。平成28年3月の映画会で大反響をいただきましたドキュメンタリー長編動画『毎日がアルツハイマー』の続編の『毎日がアルツハイマー2』の上映と、今回も関口祐加監督にお越しいただき、監督のトークショーを行いました。映画は認知症の現実を伝えながらもコメディタッチの作品となっており、笑って泣いて・・・参加者の皆様真剣に鑑賞されていました。



関口祐加監督のトークショー

上映後の関口監督によるトークショーでは、認知症の方に関わる際にポイントとなる様々なキーワードを交えながら、ユーモア溢れる語り口でお話しいただきました。

会場のロビーには、麻生区内の福祉施設等のパネルや福祉情報を展示しました。参加者のみなさん熱心に目を通され、認知症になっても安心して住み続けることができる地域づくりについて考える貴重な機会となりました。（参加人数 202名）



区内福祉情報の展示

参加者の方の感想等（一部抜粋）

- ・お母様の日常生活がありがたのままで良かった。
- ・アルツハイマーの人の認識が変わった。
- ・認知症十人十色。本当ですね。
- ・目からウロコのお話満載でとても楽しく考えさせられる講演でした。
- ・実際に介護している監督のお話は心に響いた。

平成29年度麻生区社会福祉協議会 事業報告・決算報告

共同募金配分金も含めた総事業費になります。

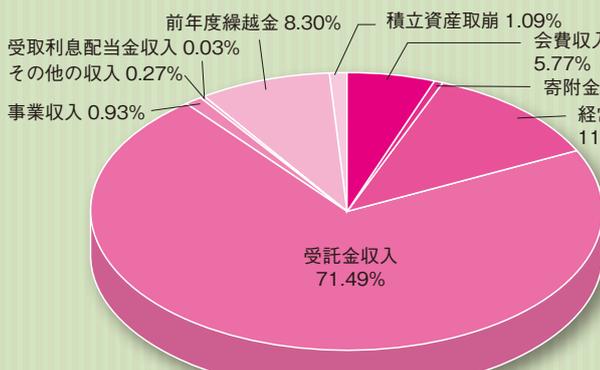
1 法人運営事業 (10,103,492 円)	社会福祉協議会の経営及び運営全般を担います。
2 調査研究事業 (48,667 円)	第3期地域福祉活動計画の中間見直しを行いました。
3 在宅福祉サービス事業 (232,332 円)	区民の在宅福祉を支えるため、地域住民や関係団体と協力して事業をすすめました。 ・地域の関係づくりの大切さを考える講演会の開催 ・地域でともに生きるを考える懇談会の開催
4 ボランティア活動振興事業 (1,998,577 円)	区内のボランティア活動の活性化と継続活動の支援、人材育成の推進を図りました。 ・ボランティア相談コーナーの開設 ・情報紙「ほらほら広場」の発行 ・福祉教育の推進 ・ボランティア養成講座、チャレボラ 2017 などの講座開催
5 広報啓発事業 (2,883,458 円)	区民へ地域福祉の広報啓発を図り、福祉活動に積極的な参加を呼びかけました。 ・広報誌「ほほえみ」発行（年3回） ・介助犬とふれあう講座の開催 ・福祉啓発映画会の開催
6 子育て支援事業 (454,946 円)	子育てにおける悩みや課題を解決できるような講座の開催、支援に係る人材の育成をしました。 ・子育てグループ交流会の開催 ・子育て中の親向けの講演会の開催 ・ペアレントトレーニング講座の開催（年4回）
7 移送サービス事業 (1,284,376 円)	区内在住で、車いす利用などにより移動することが困難な方に対して、福祉車両「ロッキー号」による移送サービスを実施しました。（177件）
8 助成事業 (8,227,033 円)	地区社協や区内会食・配食団体等に対して助成金を交付し、地域福祉活動の充実を図りました。 ・賛助会費の財源をもとに、麻生東地区社協・柿生地区社協へ活動費の交付 ・高齢者ふれあい活動支援事業
9 共同募金配分事業 (8,541,619 円)	共同募金の配分金を財源として事業を実施しました。 ・年末たすけあい配分事業（452世帯） ・ボランティアグループや地区社協等への活動助成 ・あさおオモチャとしょうかん運営 ※上記事業の他にも、共同募金配分金を充当して各種の事業を実施しています。
10 受託事業 (94,197,0211 円)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉パルあさお管理運営事業 あさお福祉まつりの開催（10月） 麻生区あんしんセンター 老人いこいの家指定管理事業 生活福祉資金貸付事業 老人いこいの家ミニデイサービス事業 麻生老人福祉センター指定管理事業



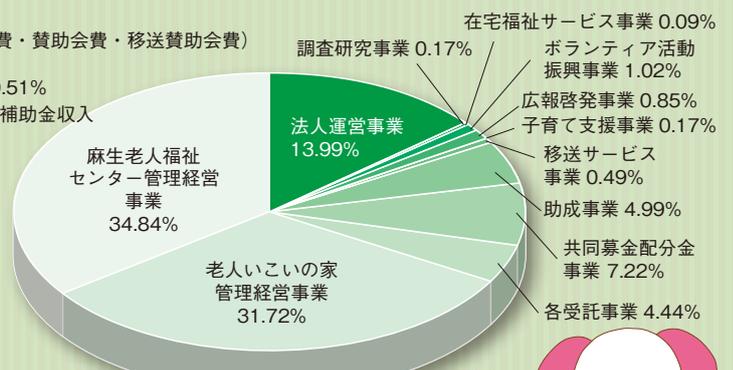
平成30年度 事業計画・予算について

重点項目

- ・区民の福祉への理解を促進する福祉啓発の推進と社会福祉協議会の広報・周知の強化
- ・地区社会福祉協議会を中心とする住民主体の小地域福祉活動の支援、及び地域包括ケアシステムの本格実施を踏まえた地域福祉のさらなる推進
- ・ボランティア活動振興センター事業の充実強化
- ・個別支援と地域支援の取り組みの推進
- ・賛助会員増強の取り組みと区社協自主財源の確保



平成30年度 歳入合計
125,836,282 円



平成30年度 歳出合計
138,819,365 円





たくさんのご協力、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました！

平成 30 年度麻生区社会福祉協議会
賛助会費 実績報告

～みんなでささえる みんなのふくし～

皆様のご支援により、多くのご協力をいただくことができました。

賛助会費は5月末時点でとりまとめを行い、地区社会福祉協議会への助成をはじめとした、平成30年度の地域福祉活動に活用されます。



麻生東地区社協「薬物乱用防止講演会」の様子



柿生地区社協「ベビーマッサージとヨガ教室」の様子

6,662,230円

(平成30年5月31日現在)



麻生区社会福祉協議会の窓口で
随時賛助会員の受付を行なっています。

2月を中心に、町会・自治会のご協力をいただき、募集を行っておりますが、麻生区社会福祉協議会の事務所でも随時、賛助会員の募集を受け付けております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会費 1口 1,000円 電話 044-952-5500

ご寄付ありがとうございました。

平成29年4月1日～平成30年3月31日

寄付金額 881,921円

寄託品：使用済み切手、車いすほか

寄付者氏名 (順不同・敬称略)

- 海保 和夫
- 東急リゾートサービス・石勝エクステリア 共同事業体 川崎国際生田緑地ゴルフ場
- 学校法人 桐光学園
- 和久井 光一郎
- イトーヨーカドー労働組合新百合ヶ丘支部
- イトマンスイミングスクール新百合ヶ丘校
- プロレスリング HEAT-UP
- 麻生安全運転管理者会・麻生区交通安全母の会
- おやし考
- ファイバーリサイクルネットワーク麻生地区連絡会 阿部 貴紅子
- 籐・手工芸ふきのとう
- 心屋塾オープンカウンセリング
- 川崎西青色申告会
- 川崎洋蘭クラブ
- セレス川崎農業協同組合
- 峰尾 直子
- ユーコープ千代ヶ丘店
- 百合ヶ丘産業株式会社
- ゆりストア
- はづきの会
- 匿名4件

ご協力ありがとうございました。

神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会からのお知らせ

平成29年度 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金へ
ご協力ありがとうございました。



川崎フロンターレ様にも協力をいただき、赤い羽根共同募金運動をすすめています。

麻生区共同募金寄付金総額
15,908,097円

- ・赤い羽根共同募金（一般募金）…9,056,927円
- ・年末たすけあい募金 ……6,851,170円

◆赤い羽根共同募金（一般募金）

麻生区内の在宅福祉をすすめる団体や福祉施設、神奈川県内の民間福祉活動を推進する団体に配分され、福祉活動をすすめる重要な資金になっています。

◆年末たすけあい募金

在宅でお暮らしの福祉ニーズを持つ世帯へ、平成29年12月末に「年末慰問金」を配布しました。また、麻生区社会福祉協議会を通じて、平成30年の様々な地域福祉活動の推進に役立てられます。集められた募金は全額、麻生区内で活用されます。

赤い羽根共同募金受配団体紹介

～赤い羽根共同募金を活用して麻生区内で活動している団体～

NPO 法人ワーカーズコレクティブ グループとも

年をとっても障がいをもっても安心して住み続けられるまちづくりのため活動している団体です。みんなの居場所「はなもも」では地域の方たちが様々な催しに集われ、交流しています。平成29年度は流しそうめん、新春もちつき大会、男の手料理、認知症学習会他、多くの催しを企画しました。定例のマーじゃんや絵手紙も好評で延べ1,514人が楽しめました。ありがとうございました。



福祉教育推進委員会からのご報告

麻生区の福祉教育“共に生きる”を考える



麻生区ボランティア活動振興センター福祉教育推進委員会では、地域全体での「福祉教育の推進」の取り組みについて検討・実施しています。



福祉教育申込みに関する相談・紹介・調整状況 ~地域内の社会資源と福祉教育を結びつけます~

申込件数 44件(延べ件数)

内 訳 小学校39件、中学校1件、福祉事業所3件、自主グループ1件 *詳細は以下の表をご覧ください

申込を通じて福祉の話を聞いた方・体験した方

延べ **3,450人**

平成29年度 麻生区社会福祉協議会福祉教育実施一覧

実施日	主催団体名	依頼内容	実施日	主催団体名	依頼内容
1 6/20	麻生家事介護ワーカーズにじ	高齢者疑似体験セット(1)、車いす(1)	24 11/17	岡上小学校 4年生	車いす体験・高齢者疑似体験・アイマスク体験 車いす(4)、高齢者疑似(6)、白杖(4)
2 7/5	片平小学校 4年1組	片平老人いこいの家利用者との交流	25 11/18	金程小学校 6年生	高齢者疑似体験(3)、妊婦体験(2)、新生児人形(2)、アイマスク(5)
3 7/14	片平小学校 4年生	車いす(10)、高齢者疑似体験(12)、妊婦体験(2) アイマスク(50)、白杖(6)	26 11/20	千代ヶ丘小学校	学校全体で福祉をテーマにした講演を聞きたい →認知症サポーター養成講座開催
4 7/29	栗平教会	高齢者疑似体験(4)、アイマスク(4)	27 11/22	長沢小学校 4年生	高齢者疑似体験・車いす体験 車いす(8)
5 7/31	ケアセンター介護福祉士会	高齢者疑似体験(4)、アイマスク(4)	28 11/22	百合丘小学校 4年生	視覚障害者の話
6 9/5	西生田小学校 4年生	地域の困りごとをささえている人から話を聞きたい	29 11/27	岡上小学校 4年生	視覚障害者の話とサウンドテーブルテニス体験
7 9/6	片平小学校 4年2組	片平老人いこいの家利用者との交流	30 11/28	岡上小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験
8 9/7	金程小学校 6年生	地域でともに生活している障害のある人達から話を聞きたい(視覚障害者)	31 11/29	岡上小学校 4年生	車いすユーザーの話
9 9/7	金程小学校 6年生	地域でともに生活している障害のある人達から話を聞きたい(車いすユーザー)	32 11/30	長沢小学校 4年生	視覚障害者の話
10 9/7	金程小学校 6年生	地域でともに生活している障害のある人達から話を聞きたい(認知症当事者)	33 12/5	柿生小学校 4年生	視覚障害者の話
11 9/8	片平小学校 4年3組	片平老人いこいの家利用者との交流	34 12/7	長沢小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験
12 9/13	片平小学校 4年生	車いす(6)、高齢者疑似体験(6)、白杖(6)	35 12/7	柿生小学校 4年生	点字体験
13 10/3	王禅寺中央小学校 4年生	視覚障害者の話	36 12/11	柿生小学校 4年生	高齢者疑似体験(6)、妊婦体験(2)、新生児人形(2)、アイマスク(20)
14 10/12	金程小学校 6年生	車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験 高齢者疑似(12)、妊婦体験、アイマスク、白杖等	37 12/14	柿生小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験
15 10/13	王禅寺中央小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験	38 12/19	百合丘小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験
16 10/16	南百合丘小学校 4年生	聴覚障害者の話と手話体験	39 1/19	白鳥中学校 2年生	職場体験学習(社協の仕事)
17 10/18	百合丘小学校 4年生	車いす(6)、白杖(6)、アイマスク(40)	40 2/5	東柿生小学校 4年生	視覚障害者の話
18 10/23	王禅寺中央小学校 4年生	高齢者疑似体験・車いす体験車いす(8)、高齢者疑似体験(8)	41 2/22	あさお訪問介護支援事業所	高齢者疑似体験セット(5)
19 10/25	王禅寺中央小学校 4年生	車いすユーザーの話	42 2/26	片平小学校 4年生	障害者スポーツをしている人から話を聞く
20 10/26	長沢小学校 4年生	高齢者施設見学	43 2/27	長沢小学校 4年生	車いす(1) 高齢者疑似体験(2)、アイマスク、白杖、点字板
21 10/31	長沢小学校 4年生	高齢者施設見学	44 3/5	東柿生小学校 4年生	視覚障害者と一緒にお楽しみ会
22 11/2	長沢小学校 4年生	高齢者施設見学			
23 11/13	千代ヶ丘小学校 3年生	人権学習まとめ			

※()内数字は貸出し数です。



小学校・中学校・高校の先生との福祉教育についての懇談会

~先生方と地域の方で福祉教育の意義と今後の展開について懇談しました~

参加者 **55人**

在宅福祉サービス部会

在宅福祉サービス部会では「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」の実現に向けて「地域の関係づくりの大切さを考える講演会」「地域でともに生きるを考える懇談会」を実施しました。地域が抱える生活課題に対して、地域住民が自ら取り組んでいけるよう、地域のつながりを深め、お互いに顔の見える関係を築き、ささえあい助けあうことができる地域力の向上を目指しています。(参加者講演会45名、懇談会89名)



地域の関係づくりの大切さを考える講演会



地域でともに生きるを考える懇談会

ボランティア基礎講座 参加者大募集!

参加費
無料

「ボランティアってなんだろう?」「ボランティアやってみたいけど、どんなことをやっているのかな...?」
麻生区にはいろんなボランティア活動があります。これからボランティアを始めたい方や、地域で活動したいと思っている方、そんなみなさんの大きなヒントになるような講座を開催します。

講座の後には、高齢者、障害者の施設や、子どもに関わるものなど、ボランティア活動を体験する場も用意しています。地域でボランティアデビューしてみませんか♪

(1) 日時 平成30年7月21日(土)
10:00~15:30

(2) 会場 麻生区役所第1会議室

(3) 対象 ボランティア活動に関心のある方

(4) 定員 100名

(5) 参加費 無料

(6) 申込み 氏名・住所・電話番号を
電話・FAX・来所・メールにて

※応募者多数の場合は抽選 受付期間は7月17日(火)まで

(7) 内容 講義、ボランティア体験プログラムの活動紹介 ほか

(8) 講師 和秀俊氏(田園調布学園大学 准教授)



昨年の基礎講座の様子

お気軽にご参加
ください!!



【申込・問合せ】

麻生区ボランティア活動振興センター

電話：952-5500 FAX：952-1424 メール：kouza@asao-shakyo.com

「ボランティア相談コーナー」を開設しています♪

開設日 毎月第1・2・3火曜日 13:00~15:00
【時間内は出入り自由 祝日除く】

場所 福祉バルあさお フリースペース
※第1火曜日のみ麻生区役所ロビーでの出張開催

ボランティア希望者(したい人)とボランティア依頼者(して欲しい人)
が気軽に相談をできる場所として実施しています。

あなたにもできる
ボランティア



麻生区社会福祉協議会からのお知らせ

「第29回あさお福祉まつりの日程が決まりました!!」
～本年度は11月第2週目の日曜日開催になります～

○日時：平成30年11月11日(日) 10:00~15:00

○場所：麻生区役所・麻生市民館周辺(雨天決行)

*皆様お誘い合せの上お越し下さい。詳細については随時ホームページや次号広報紙等でお知らせいたします♪



昨年のまつりの様子

ほほえみ

今年度の広報紙「ほほえみ」は、
年3回(7月1日号、11月1日号、2月1日号)発行いたします。
福祉に関する地域の情報など、広報紙に掲載する記事を募集しています。

QRコードは
こちら→



【問合せ】社会福祉法人 川崎市麻生区社会福祉協議会

TEL. 952-5500 FAX. 952-1424 E-mail info@asao-shakyo.com

麻生区社協

検索